

## 第3次松戸市食育推進計画(案)への意見と市の考え方

「第3次松戸市食育推進計画」の策定にあたり、市民の皆様からご意見を募集したところ、6名の方からご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見を整理し、市として考え方をまとめたうえ、「第3次松戸市食育推進計画」を策定いたします。

(パブリックコメント手続結果の概要)

- 1 意見募集期間 平成30年1月5日(金)から2月4日(日)まで
- 2 意見提出者 6名
- 3 意見件数 46件

章	No	意見箇所	内容	市の考え方	修正
第1章 基本的な考え方	1	5ページ ③4行目	日本語として美しくない。 器を利用したりして→利用して	記載内容につきましては、農林水産省発行の「和食」紹介リーフレットから引用しております。	無
	2	6ページ (3)食品ロス	食として、使いきりの働きかけ、また、残った食材の活用方法などの取り組み、発信も考えていただきたいと思います。	食品廃棄物削減については、食品を買いすぎない、食品を使い切る・食べ切る、外食の際は適量を注文する・残さず食べるということを、説明会やリーフレット、インターネット等を通じて発信しております。 貴重な意見として承り、今後の参考とさせていただきます。	無

章	No	意見箇所	内容	市の考え方	修正
第1章 基本的な考え方	3	7ページ 囲み2行目	(松戸市社協は、フードバンクへの個人の協力を呼びかけている。)流通に出すことができない食品を企業などから寄贈していただき → 流通に出すことができない食品を企業などから、 <u>また家庭内で消費されない賞味期限内の食品を個人から、寄贈していただき</u>	「フードバンクとは、品質に問題がないにもかかわらず廃棄されてしまう食品を企業や個人から引き取り、必要としている福祉施設・団体や個人に無償で提供する活動です。近年、食品ロスや生活困窮の問題、企業の社会的責任への注目などを背景に全国に広がり、千葉県ではフードバンクちば(ワーカーズコープちば)が社協や関係機関と連携して実施しています。」と修正いたしました。	有
第2章 松戸市の現状と課題	4	12ページ (グラフ) エ 松戸市の主要死因	日本語としてよくない 松戸市の主要死因→ 「松戸市民の主要死因」あるいは「松戸市での主要死因」	ご意見を基に「松戸市民の主要死因」に修正いたしました。	有
	5	15ページ (グラフ) (エ)年齢層別農業従事者数	男女別の数字は出ないのか	ご意見を基にグラフを追加で記載いたしました。	有
	6	16ページ イ 特産(松戸の農業より)	(ア)あじさいねぎ 写真に小口切りにしたねぎの写真を加えるとよい (イ)矢切ねぎ 写真では矢切ねぎの太さや立派さがわからない。ねぎを人が持った写真はないのか。	ご意見を基に修正いたしました。	有

章	No	意見箇所	内容	市の考え方	修正
第2章 松戸市の現状 と課題	7	16ページ イ 特産(松戸の 農業より)	地産のあじさいねぎ、矢切ねぎ、二十世紀梨、こかぶ、枝豆、この食材を使っての伝統の料理、新しい取り組みの料理を食文化としてきちんと残し、内外に発信していく取り組みが必要と思います。	貴重な意見として承り、今後の参考とさせていただきます。	無
	8	20ページ 千葉県農業算 出額上位10品 目	ランキング1位がうまく表示されていないようですので、確認お願いいたします。	ご意見を基に修正いたしました。	有
	9	22ページ ウ 市民アン ケート調査結果 抜粋	回答例の□内のアミ版が判別しにくい。□を大きくして、わかりやすくする。以降も同様に。	ご意見のとおり修正いたしました。	有
	10	24・25ページ エ 大学生アン ケート調査結果 抜粋	学年別で6年生までであるのは何故か。留年した学生か。	修業年限が6年の学部があるため6年生まで表記しています。	無

章	No	意見箇所	内容	市の考え方	修正
第2章 松戸市 の現状 と課題	11	28ページ (2)モデル事業 基本目標②	30ページ1行目の「地域で採れる食材」のほうが適切 であるので揃える。 地域でとられる食材→地域で採れる食材	記載内容につきましては、第2次食育推進計画の評価 ですので、第2次計画の記載をそのまま記載してありま す。(第3次計画については、「採れる」に変更してありま す。)	無
	12	28ページ (2)モデル事業 基本目標③	単語として聞き慣れず、わからない。巻末の用語解 説にも載っていない。 選食力→「食を選ぶ力」あるいは「食べ物を選ぶ力」 ※食育かるた2行目の表記も同様に修正する	用語解説に「選食力」の項目を追加いたしました。	有
	13	28ページ 1 食育かるた 8行目	小学校等で活用いただき→小学校等で活用され	ご意見を基に「小学校等で活用され、普及を進めてきま した。」に修正いたしました。	有
	14	30ページ 4 農業体験 1行目	試食までの一貫の流れ→「試食までの一環の流れ」 あるいは「試食までの一連の流れ」	ご意見を基に「試食までの一連の流れ」に修正いたしま した。	有
	15	31ページ (3)モデル事業 の評価 レシピコンテスト 4行目	世代をまたぎ→世代を越えて	ご意見のとおり修正いたしました。	有

章	No	意見箇所	内容	市の考え方	修正
第2章 松戸市の現状 と課題	16	32ページ 農業体験(H29) 課題	意味がわからない。「学生ボランティアの参加により、行政主体から民間主体になったので、今後は実施方法を検討する必要がある。」という意味か	表現がわかりづらかったため、農業体験の課題につきまして、「市民農園や農家での農業体験、学生による運営など、その体験方法の検討が必要である。」と文章を修正いたしました。	有
	17	33ページ	子育てフェスティバルでも食育のコーナーがあったのに記載がなくてよいのか。	33ページは、食育モデル事業に関して記載しております。食育推進計画の基本目標と合致するため、食育推進事業に追加記載させていただきます。	有
第3章 第3次 松戸市 食育推 進計画	18	36ページ 4 基本施策	本計画とは別に施策としてあるかもしれませんが、食の質を考える前に貧困世帯における子供の食事問題対策を上げるべきではないかと考えます。子供食堂の設置や運営、夏休み中の食事問題など、食事を摂ることができない子供達への対策こそが優先課題かと思えます。	貧困世帯の食事問題は重要な問題であると認識しております。しかしながら、様々な支援制度に繋がっていない場合には、個別に対応していくことが必要なため、当該計画には位置づけずに対応してまいりますので、貴重なご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。	無
	19	36ページ 4 基本施策(1) ① 1行目	「もったいない」ライフの意味がわかりにくい 「もったいない」ライフを心がけ、→「もったいない」の精神を心がけ	ご意見のとおり修正いたしました。	有
	20	36ページ 4 基本施策(1) ② 1～2行目	食を味わう、それらを→食を味わうことを	ご意見のとおり修正いたしました。	有

章	No	意見箇所	内容	市の考え方	修正
第3章 第3次 松戸市 食育推進計画	21	37ページ 基本目標1⑤、 および46ページ 「給食の栄養指導・食教育実践指導」	食育とは、食品に関する消費者教育に他なりません。小学校、中学校の理科や家庭科で習得する知識をうまく使い、食品表示を正しく読み取り、自らが食べる食品を自ら主体的に選択できるような教育をあわせて行うことが効果的だと思います。その意味で、実践指導は教科指導との連結を意識し、拡大することも検討してはどうでしょうか。	食品表示などの食品に関する知識については、小中学校の教科書に記載されておりますので、貴重なご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。	無
	22	37ページ 基本目標2 ② 1～2行目	野菜の成長過程→野菜の生長過程	ご意見のとおり修正いたしました。	有
	23	37ページ 基本目標3 ③ 2行目	消費者に関する情報→消費生活に関わる食品の情報	ご意見を基に「食品の情報」に修正いたしました。	有
	24	40ページ 食に関する指導 小学校 5行目	給食も実施。→給食も折に触れて実施する。	ご意見のとおり修正いたしました。	有
	25	40ページ 食に関する指導 中学校 1～2行目	健康づくり努める態度→健康づくりに努める態度	ご意見のとおり修正いたしました。	有

章	No	意見箇所	内容	市の考え方	修正
第3章 第3次 松戸市 食育推 進計画	26	40ページ 農作業体験	図の中に、48ページ②にある、小中学校等での農作業体験を載せないのか。	ご意見のとおり修正いたしました。	有
	27	41ページ ライフステージ別のポイント成 年期 3行目	妊娠期を行政が限定することはいかがか。	子どもの食育のためには、保護者への食育周知が大事であることから、妊娠期を特定の年代に限定することはふさわしくないと判断し、年代を特定しないように別で記載し、修正いたしました。	有
	28	42ページ (3)推進事業①	食品残さの飼料化を行い、それで生産された畜産物を市内で販売するスキームを立ち上げられませんか。例えば、給食残渣を飼料化して給食で出す(もちろん子供たちにちゃんと説明する、可能であれば社会科見学で飼料化工場や生産農場を見学)、などです。食品循環資源の意識付けの契機として、エコフィードは有力な手段と考えます。	現在、市内の小中学校から排出される給食残渣(調理くず、食べ残し)を豚の飼料としてリサイクルする学校給食残渣資源化モデル事業を実施しております。また、この事業の解説資料を作成・配布し、児童・生徒への食育に活用していただいております。貴重なご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。	無
	29	42ページ (3)推進事業①	各家庭、行政の災害時用非常食の活用についての啓発事業を追加すべきではないか。家庭向けには、「ローリングストック法」の啓発や非常食活用レシピの広報。行政には、非常食の放出も含めたストックサイクルの明確化と放出食活用法の開発等々が考えられる。	貴重なご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。 なお、ローリングストック法の啓発についてはパートナー講座等で行っております。 また、現在、災害時用非常食としまして、アルファ米(賞味期限5年)を避難所となる各小中学校に備蓄しております。期限の1年前に回収し、地域のイベントや総合防災訓練等で活用しております。	無
30	42ページ (3)推進事業②	平和事業の一環として、戦争中の食生活を体験する講座があったが載せないのか。	本事業については、平成27年度をもって事業を終了しており、また、本計画の基本目標及び目的が事業の主旨と若干異なるため、掲載を見送りました。貴重なご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。	無	

章	No	意見箇所	内容	市の考え方	修正
第3章 第3次 松戸市 食育推 進計画	31	43ページ (3)推進事業③	野菊野こども館で行われている、ホットプレート等を使って子どもたちが自分たちでつくって食べる活動は載せないのか	本計画の基本目標に合致した事業となっておりますので、新たに推進事業一覧に記載いたします。	有
	32	43ページ (3)推進事業③	子ども食堂の活動が市内でも広がっている。市民の活動とはいえ、全く触れないのはいかがなものか。	子ども食堂の活動内容は、団体によって様々であるため、本計画の中で位置づけるのが難しいことから、貴重なご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。	無
	33	45ページ わんぱく歯科くらぶ 3～4行目	「う蝕予防」とは何か。辞書に載っていない言葉なので用語解説していただきたい。	ご意見を基に「う蝕予防」を「むし歯、歯周病予防」に修正いたしました。	有
	34	47ページ 基本目標2	松戸は「地産地消」のうち「地消」が脆弱と感じます。「大農業まつり」などのイベントについて、市民の皆様へのアピールを強化することや、ブランドについてはエビデンスあるブランド化を行うほか、外食や観光などと連携し、「松戸で作ったものを、松戸で食べられる」施策を拡大すべきです。また、「地産地消」については東葛地域の自治体と連携し、地域としてパッケージで盛り上げることも考慮する必要があります。これを行うことで、農畜産物をセットで(例えば、松戸は畜産が弱いので、畜産が強い近隣の自治体産の生産物を松戸産の農産物をうまく組み合わせたメニューを市内で購入できるようにすることなど)地域ブランドとして、市民に定着できるものと考えます。可能であれば、松戸駅に「松戸産農産物のお土産コーナー」を開設できませんか。さらに、マーケティングについては、千葉大学園芸学部や、若干離れていますが、つくばにある農水省系の研究機関とも連携してはいかがでしょうか。	地産地消は、「大農業まつり」などのイベントにおいて、新鮮で安全安心な松戸産野菜の販売実施、松戸産農作物シンボルマーク「みのりちゃん」や「松戸えだまめ」推奨マークなど、地域ブランドとしての松戸産野菜を周知しております。貴重なご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。	無



章	No	意見箇所	内容	市の考え方	修正
第3章 第3次 松戸市 食育推 進計画	35	47ページ	産地直売所については、大規模な駐車場を完備した施設とし、可能であれば道の駅に登録されるようなものを整備することが効果的ではないでしょうか。このことによって、市内だけではなく近隣の市や他県からの集客も期待され、市内の農業活動のより発展につながると考えます。そのためには併せて当該箇所周辺の道路整備も必須でしょうが。	地産地消は、「大農業まつり」などのイベントにおいて、新鮮で安全安心な松戸産野菜の販売実施、松戸産農作物シンボルマーク「みのりちゃん」や「松戸えだまめ」推奨マークなど、地域ブランドとしての松戸産野菜を周知しております。貴重なご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。	無
	36	49ページ 障害児(者)歯科 保健指導 事業内容 4行目	「噛む」と表記されているが、「基本目標3.選食力を養い、よくかんで食べ、」は、ひらがなとなっている。揃えていいのか。	ご意見を基にひらがな表記に統一いたしました。	有
	37	59ページ 配食	地区社協で行っているふれあい会食会のことを指すのか。介護保険利用者の配食サービスはどうか。	会食会に参加できない高齢者に対する配食、巡回型の会食会、児童生徒との交流を目的とした会食会など、創意工夫に富んだ会食会を開催する地域の活動について記載しております。ご意見をもとに、地区社協が開催している市内在住で70歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象とした「ふれあい会食会」を加えました。なお、松戸市在宅高齢者配食サービス事業は、在宅高齢者に対する安否確認を主な目的としています。食育推進計画の目的とは異なるため、記載を考慮しておりません。	有
	38	61ページ 消費者学習支 援事業	消費生活展については触れないのか。	消費生活展は消費者学習支援事業内容にある「情報の提供」に含まれておりますので、記載しておりません。	無
	39	61ページ 市場	市場祭りには触れないのか	市場祭は、施設会社や市場関係業者が中心となって主催(市場祭実行委員会)しており、松戸市は後援という立場であることから、記載しておりません。	無

章	No	意見箇所	内容	市の考え方	修正
第3章 第3次 松戸市 食育推 進計画	40	62ページ 学校給食用食 材の放射性物 質検査 事業内容	毎回測定を実施。結果は本市ホームページに掲載している。→毎回測定を実施し、結果は本市ホームページに掲載する。	ご意見を基に「学校給食に使用する頻度が高いと思われる食材を学期ごとに選定し、学期に一回ずつ測定を実施し、結果は本市ホームページに掲載する。」に修正いたしました。	有
	41	62ページ 学校給食のまる ごと放射性物質 検査 事業内容	測定している。結果は本市ホームページに掲載している。→毎回測定を実施し、結果は本市ホームページに掲載する。	ご意見を基に「市内小中学校65校が児童生徒に提供した給食の放射性物質検査を、学期に一回ずつ測定を実施し、結果は本市ホームページに掲載する。」に修正いたしました。	有
	42	63ページ 5 計画の推進 (1)推進体制に ついて※図	「ボランティア・地域」とあるが、意味がわかりにくい。地域のボランティアという意味か。ボランティアだけではいけないのか。町会・自治会という意味なら、ボランティアと地域は別にした方がいいのではないのか。	ご意見を基に「ボランティア」と「地域」を別に記載いたしました。	有
	43	64ページ (2)指標及び目 標値	朝食を欠食する子どもの割合の目標値として、0%を目指すのに、朝食を欠食する若い世代の割合の目標値が15%と高すぎる。また、20歳代15.7%、30歳代9.9%の現状にあっていない。朝食を欠食する若い世代の割合の目標値を修正されたい。	当初は、国の目標値「15%以下」を市の目標値としておりましたが、アンケート調査から20歳代はあと0.7%で達成、30歳代はすでに達成という現状が明らかになっておりますので、それぞれに対し松戸市独自として目標値を設定しました。数値は子どものように0%を目指すということは現実的ではないことから、改善の難しそうな20歳代は3人に1人の改善を目指して10%以下、30歳代が2人に1人として5%以下としました。	有
	44	77ページ 松戸版バランス ガイド カラー図	字が小さくて読めない。コマの絵と合わせて、1ページを使って大きく掲載されたい。	ご意見を基に修正いたしました。	有

章	No	意見箇所	内容	市の考え方	修正
参考資料	45	86ページ 5 用語解説 地産地消	「千産千消」についても触れてはいかがか。	本計画内で「千産千消」という単語を使用しておらず、また「地産地消」の考え方としましても市の計画ですので、松戸産の農作物を市民の方々に周知し、「松戸の地産池消」を推進していきたいと考えております。	無
	46		食育推進のために行っている具体的な活動を紹介するコーナーがほしい。レシピ集などを掲載してはどうか	貴重なご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。	無